

2024年5月23日

認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会

報道関係者各位

【回収した制服の古着リサイクルで広がる企業 SDGs】

山陰合同銀行さまから「古着 de ワクチン まごころプロジェクト」を通じて
途上国の子どもたちに贈られたワクチン 5,000 人分に対し感謝状を贈呈

「認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」（以下 JCV）では、日本リユースシステム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：山田 正人）と連携して、不要になった衣類や服飾雑貨のお片付け（回収・リユース・リサイクル）を通して、途上国の「子どもワクチン支援」に貢献できる「古着 de ワクチン」の取り組みを、2010 年 11 月より続けております。

この度、企業・団体向けの社内 SDGs に特化した、「古着 de ワクチン」のパッケージプラン「まごころプロジェクト」（2022 年 10 月 1 日リリース）を通じて、株式会社山陰合同銀行さまより、ポリオワクチン 5,000 人相当分（1 人分 20 円）のご寄付を賜り、感謝状贈呈式を実施しましたことをご報告いたします。本感謝状贈呈式は、国内の金融機関では初めての実施となります。



株式会社山陰合同銀行 取締役専務執行役員 吉川浩さまに感謝状を贈呈する JCV 理事長 剣持睦子

【株式会社山陰合同銀行さまのご支援】

今回、株式会社山陰合同銀行さまがリサイクルのために回収したのは、社員の皆さまの不要となった制服約5トンです。これが、ポリオワクチン5,000人分の支援につながります。また、古着1kgあたりの回収・リユースによるCO2排出量削減は7.52kg^{※1}とされており、今回の取り組みによって、37,600kg-CO2の排出量の削減にもつながります。

(※1 環境省の「3R 行動見える化ツール (簡易版)」にて換算。3R原単位の算出方法。)



株式会社山陰合同銀行さまが回収した制服 (左) と集まった回収袋の山 (右)

【まごころプロジェクト概要】

SDGs9つのゴール達成に貢献

SDGs 9つのゴール達成に貢献



世界の子どもたちにワクチンを支援



「古着deワクチン」は「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」を通して 4,725,533人分 (2023年1月末現在) のワクチンを支援。



衣類のサステナブルな活用で脱炭素に貢献



お送りいただく衣類を販売し世界中で再利用。再利用する事でCO2削減に貢献。



国内の障がいのある方の仕事創出



就労継続支援B型事業所 約束の樹など、全国の福祉作業所と連携し回収キットを製造。



開発途上国での雇用創出



カンボジアの直営センターでは、ポリオによる障がいがあるスタッフも雇用。



国内の子どもたちの福祉を支援



社会福祉法人 東京都共同募金会と連携して、児童養護施設などの子どもたちを支援。



障がい者アーティストを支援



一般社団法人障がい者アート協会と連携して、障がいがあるアーティストを支援。

ご利用いただくメリット

ご利用いただくメリット

- ① 「古着 de ワクチン」 SDGs サポーター企業の認定書が発行されます。
- ② 「古着 de ワクチン」 SDGs サポーター企業一覧ページで企業名が公表されます。
- ③ 「古着 de ワクチン」を通して SDGs 活動を推進する企業としてアピールできます。
- ④ 「古着 de ワクチン」を通じた社内活動が従業員の意識向上と理解促進につながります。



(※まごころプロジェクトのホームページはこちら <https://furugidevaccine.etsl.jp/btob/>)

【古着 de ワクチンとは?】

JCV と日本リユースシステムが連携して、2010 年 11 月より取り組みを開始した、自立支援型・寄付付きお片付けサービス。不要になった衣類やバッグ、靴、服飾雑貨を簡単・便利に手放して、日本における衣類ロス問題の解決に貢献するだけでなく、開発途上国の子どもたちにワクチンも支援でき、これまで 4,000 以上の企業・団体の SDGs 活動に活用されています。

また、日本政府主催の「第 3 回ジャパン SDGs アワード」では、長年の社会貢献が評価されて「特別賞」を受賞。2024 年 4 月 30 日現在、ポリオワクチン 6,773,435 人分を JCV を通じて寄付。

(※「古着 de ワクチン」のホームページはこちら <https://furugidevaccine.etsl.jp/>)



お部屋と心がスッキリ!

【JCV の子どもワクチン支援】

ポリオ、はしか、結核などの感染症は、開発途上国においては日常の脅威として、日々多くの子どもたちの命と笑顔を奪い続けています。その数は 1 日 4,000 人。20 秒に 1 人の子どもたちがワクチンの接種をすれば防げるはずの病気で亡くなっています。

私たち JCV は、1994 年の創設以降、途上国の子どもたちにワクチンを届け、彼らの命と未来を守る活動「子どもワクチン支援」を行う民間の国際支援団体です。感染症のワクチンは安いもので 1 人分 20 円ととても安価です。これまで、UNICEF や各国の保健省と協力し 1 億 2,176 万 7,729 人の子どもたちにワクチンを届けてきました。約 1,000 人の個人、3,000 の企業・団体の皆さまのご支援により、昨年は、ミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツの 4 カ国の子どもたちに対し、1 億 1,662 万 5,340 円分のワクチンや関連機器を贈りました。



2024年3月に視察したラオスの病院でJCVの支援したポリオワクチンを接種する赤ちゃん

【団体概要】

- 団体名： 認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会
- 代 表： 理事長 剣持 睦子（ケンモチ ムツコ）
- 創設者： 会長 細川 佳代子（ホソカワ カヨコ、細川護熙元首相相夫人）
- 所在地： 東京都港区三田 4-1-9 三田ヒルサイドビル 8F
- U R L： www.jcv-jp.org
- 設 立： 1994 年 1 月 29 日
- スペシャルサポーター：
竹下景子（ワクチン大使・女優）、和田毅（プロ野球選手）、早見優（歌手・女優）、三國清三（オテル・ドゥ・ミクニ・オーナーシェフ）、進藤奈邦子（WHO メディカルオフィサー）、鏡リュウジ（翻訳家・心理占星術研究家）、安藤優子（ジャーナリスト）、キャップ革命 ボトルマン（株式会社タカラトミー）

<お問い合わせ先>

認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会
広報・啓発・教育グループ 高橋、乙津
TEL：080-5930-3012 / 080-3094-8232 FAX：03-5419-1082
E-mail：takahashi@jcv-jp.org / otsu@jcv-jp.org